社保協の地域医療めぐる運動に関する報告

2021 年 9 月 14 日中央社保協

※2021 年 6 月中央社保協各ブロック会議報告からの抜粋も補充

1. 北海道社保協

① 地域医療と公立病院を守る道連絡会

・ 「北海道病院事業改革推進プラン」（素案）

策定の趣旨

道立病院局では、道立病院が地域に必要な医療を継続して提供できるよう、平成 29 年（2017 年）３月に策定した「北海道病院事業改革推進プラン」に基づき、**経営改善に向けた病院運営の見直し**を進めてきました。

人口減少や少子高齢化の進行など、本道の病院経営を取り巻く環境が厳しさを増していく中で、道立病院が今後とも、**地域で必要とされる医療を提供していくため、公立病院としての公共性を確保するとともに、効果的、効率的な医療の提供や経済性の追求など、経営改善を着実に進める**必要があることから、本プランを策定します。

2. 青森県社保協

① ４２４(440)地域医療を守る運動の推進について

・ 当該市町村とリストアップされた病院としての考え方等について懇談を通して明らかにする。

・ 対象病院の院長、事務長に訪問懇談申入れ・振分け(案)

≪開催地域≫

○三八社保協区域・三戸中央病院・五戸総合病院・南部医療センター・・・三八社保協内で協議中

○上十三社保協・・・おいらせ病院

懇談願提出すみ⇒ 当面懇談を見合わせたいとの事⇒検討必要

○東青社保協では県立病院と市民病院との協議について

意見交換されている【詳細は不明】

○【仮称】むつ・下北の地域医療を考える会結成される

4/21(火)学習会と結成会 継続的介入できるか

・ 県立中央病院と青森市民病院のあり方検討協議会…主に共同経営、再編統合方法

✓ 2021 年 5 月、7 月に協議⇒10 月の協議へて 11 月 10 日に提言とりまとめ

✓ 連携協議　選択肢案

案①：両病院独立経営を維持し、機能分担と連携を推進

案②：共同経営の上、両病院存続し、機能分担と連携を推進

案③：共同経営の上、統合病院を新築整備

案④：共同経営の上、一方の既存施設を増築・改修して、統合病院を整備

3. 岩手県社保協

○地域医療を守る取り組み・・地域医療を守る岩手県連絡会 2/4（木)、2/26（金）

出席）いわて労連、岩手自治労連、岩手医労連、県医労、岩手社保協

（1）「地域医療構想」問題のその後

① 奥州地域での「地域医療を守る」運動

・ 市民の取り組みとしては、2020 年 2 月に地域労連主催のシンポジウム（200 人)、同 11 月に医療を考えるパパママの会による市民集会（110 人）が行われた。地域労連は市長への公開質問状を提出。パパママの会は市民アンケートに基づく要望書を提出した。

・ 2 月 4 日、「安心して住み続けられる地域医療をめざす会」が市長に 9137 人分の署名を添え、「奥州・金ヶ崎地域の医療の充実と新病院の早期建設を求める要請書」を提出。

要求項目は＊市立病院・診療所のベッド削減は行わないこと。

＊産科・小児科の総合的な医療体制を早期に進めること。

＊新市立病院では医師増員、救急医療の拡充を図ること。

・ 2 月 12 日、胆江圏域地域医療連携会議において、**奥州市長はまだ病院再編計画の内容は決定していないと弁明**。3 月中には内容を決め、4 月以降住民説明会やパブコメを行いたいとの意向を示した。県は地域医療計画の策定について、国の動向を見て策定する考えを示し、次回の会議は 9 月、2 月の予定。

・ 2021 年 3 月に奥州市長が、「総合水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を統合し、2025 年開設を目指して新病院を建設」すると表明。市立医療施設全体（235 床）として 100 床程度を削減し、130 床程度にするというもの。

・ 市当局の提案内容(4 月 23 日　奥州市当局の説明会)

✓ 2 病院 3 診療所のうち、総合水沢病院（149 床）とまごころ病院（48 床）の 2 病院と前沢診療所（19 床）を統合して、2025 年度に新病院を開院（100 床程度)。衣川診療所（19 床）は無床化し歯科診療所とあわせて外来維持。

✓ 常勤医の減少（2017 年 4 月 33 人⇒21 年 4 月 21 人）

✓ 6 月ころまでに「病院診療所改革プラン」案に盛り込み、住民説明会開催予定。

・ 【会の取り組み】

✓ 「安心して住み続けられる地域医療をめざす会」(20 年 11 月結成）は、9137 筆の署名提出（21 年 2 月）

✓ 「まごころ病院を守る会」(21 年 4 月結成）は、令和 3 年第 3 回定例会に「奥州市国民健康保険まごころ病院の存続を求めることについての請願」を提出。

✓ 「安心して暮らせる前沢の医療を守る会」(21 年 5 月結成）は、令和 3 年第 2 回定例会に「新市立病院建設計画（案）の取り扱いと地域住民への十分な説明を求める陳情」を提出。第 3 回定例会には「奥州市国民健康保険前沢診療所の存続を求める請願」を提出した。

✓ 「衣川地域振興会連絡会と奥州市衣川行政区長協議会」は、それぞれの会長が連名で第 3 回定例会に「奥州市国民健康保険衣川診療所の病床存続を求める請願」を提出した。

・ 市は、8 月 20 日～28 日までの間に病院・診療所改革プラン案の住民説明会を行う予定であったが、県の新型コロナ感染症緊急事態が出されたため延期となった。

② 軽米町での住民集会は相談しながらすすめる。

③ 医師不足問題

・　釜石地域・・・「釜石地域医療と国立病院を守る会」の取り組み
　✓　「県立釜石病院に医師確保を求める署名」5 月末まで
　✓　沿岸部での地域医療懇談会の取組みを検討する。開催は 5～6 月ころの土日とする。
・　運動の推進状況
　✓　県立釜石病院
　　・県立釜石病院に医師確保を求める知事・医療局長要請（2021.6.16）
　　・署名は 1 か月足らずで 1 万５３３６筆が寄せられた。5 社のテレビ報道もされた。
　　・地域医療と国立釜石病院を守る会、釜石老人クラブ連合会、地域医療を守る岩手県連絡会など　　5 団体は連名で、岩手県知事と釜石市長あてに「県立釜石病院に医師確保を求める請願」を提出（2021.6.28）。環境福祉常任委員会で継続審議となった。
　　・9 月議会に向け、医師不足問題は釜石病院だけの問題ではないことと、産科休止問題が加わったことなどから請願をいったん取り下げ、新たな内容で請願を提出予定。
　　・県立病院周辺に 1000 枚のポスティング。住民の反応から激励の反応も。
・　県立山田病院・・・4 月から総合診療医配属
　✓　**地域医療と山田病院を守る会が病院事務局長と懇談**
　✓　沿岸部での地域医療懇談会の取組みを検討する。開催は 5～6 月ころの土日とする。

4.　宮城県社保協
①　県立がんセンターとの移転･統合
東北ろうさい病院、仙台赤十字病院の移転･統合反対!!　1 万 2,385 筆の署名を宮城県に提出！
・　1/25（金）地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会が取り組んだ「東北ろうさい病院・仙台赤十字病院移転・統合」反対署名 1 万 2385 筆を宮城県に提出しました。当日は、太白区や青葉区市民、労働組合など 13 名が参加しました。
　対応した副知事からは「人口減によって病院が立ち行かなくなる」と回答し参加者を落胆させていました。当日は、県議会 3 会派 5 名の議員も同席しました。また、関係労組は翌日、赤十字病院前の朝宣伝や街頭署名の取り組みが。
・　地域医療共同行動や県医労連・全日本医労連・全日赤労組・全労災労組・全労災東北労災支部の 6 団体連名で要請書を独立行政法人労働者健康安全機構に提出【2021 年 5 月 10 日】
・　令和 2 年 10 月 14 日　仙台市太白区連合町内会長協議会より仙台赤十字病院の移転･廃止の要望を郡市長に提出
※2021 年 9 月　　県の方針変更
・　仙台赤十字病院と宮城県立がんセンター、東北労災病院と県立精神医療センターを仙台圏で二つの拠点病院に再編する計画が突如発表された 9 日、所在地の住民らには「内容が分からない」と困惑が広がった。患者やまちづくりへの影響が大きいとして、現地存続を改めて求める声も相次いだ。
②　合意なき公立刈田綜合病院「公設民営化」への条例改正
白石市長の独断専決処分に対する抗議文提出！
・　1/28（木）地域医療を考える会（白石）では、公立刈田総合病院の戸谷信一事務部長を訪ね、病院管理者の山田裕丁白石市長が行った同病院の公設民営化を可能にする条例改正の専決処分の撤回を求める抗議文を提出しました。抗議文では、病院の財務状況が苦しいのは市の拠出

金を減らしたことによるもので、山田市長自らが病院経営を困難にしているなどとしています。

③　登米地域・・・登米市民（198 床)、米谷（90 床)、豊里（同）の 3 病院の統廃合を否決

・　2 月 4 日の登米市議会 2 月定期議会。議長を除く出席議員 22 人のうち、賛成はわずか 3 人だった。市が重要案件と位置付けた市立 3 病院を再編する条例改正案が否決された。反対した複数の議員は「十分な議論がなされていない」と説明するが、市の病院事業は毎年約 10 億円の資金不足に陥っており、病院再編は市も議会も避けては通れない課題だ。

改正案は、登米市民（198 床)、米谷（90 床)、豊里（同）の 3 病院に関して、登米市民を一般急性期と医療教育を担う本院と位置付け、米谷、豊里を回復期、慢性期を担う分院として機能分担するものだった。(河北新報　20210414)

・　登米保健所を 2022 年度以降、石巻保健所との再編統合で支所にする県の方針について、登米市の市民団体は 31 日、登米保健所の存続を求める要望書と署名 4376 筆を県に提出した。「登米保健所の存続を求める会」(021.9.1 河北新報)

※登米は、重点地域

5.　山形県社保協

3. 地域医療構想の国による重点支援区域としての山形県置賜地区の選定について（P10～11）

国による重点支援区域として県内置賜地区が選定され米沢市立病院、三友堂病院、三友堂リハビリセンターが再編統合の対象となった。

昨年、寒河江市が県へ要請した県立河北病院と寒河江市立病院の統合は、表立った統合の動きは出ていない。

⇒コロナ禍、地域の皆さんの意見を聞いていきたい【県サイドの見解】

・　令和 2 年度第 1 回村山地域保健医療協議会（村山地域医療構想調整会議）議事録より抜粋

河北病院は昨年度まで急性期病床が 120 床あったが、今回 60 床に減っている。

河北病院が 60 床で回せているのは、地域包括ケア病床の方に流している

・　重点支援地域

・　西村山地域での病院統合問題

6.　秋田県社保協

(5) 地域医療構想による秋田県の病床再編の新たな提案と実施について

○秋田「共同行動」の県知事申し入れに対してコロナ対策が考慮されていなかったと、次の調整会議で議論となる）など答弁

○にかほ市の金病院診療所へ「構想」に基づくものとさきがけ報道

○羽後町８月臨時議会、コロナ第二次臨時交付金で羽後病院に電子カルテ導入（1.8 億円）

○角館病院、精神科休床病床を転換し➡コロナ対策病床確保へ

○厚労省コロナ禍で地域医療構想あきらめない姿勢。

○羽後町 8 月臨時議会、コロナ第二次臨時交付金で羽後病院に電子カルテ導入（1.8 億円）・・・・・・・・・・・・・・・・・・6 月臨時議会

○角館病院、精神科休床病床を転換しコロナ対策病床確保

○にかほ市金病院診療所へ「構想基金で診療所」（さきがけ９月５日（木））

○県医師会も地域医療構想の感染病床や医師不足を指摘（別紙）

○「令和２年度地域医療構想を推進するための病床削減支援給付金の実施について」医政局……11 月 26 日（木）

○　地域医療構想　再検討連合「要求と提言」に追記……12 月　1 日（火）

○　福岡県市立中間病院 3 月末廃止議案が市議会で否決……12 月 23 日（水）

○　「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすることを国に求める意見書提出の陳情と結果（採択 23、継続 1、不採択 1）…12 月 23 日（水）

同　　赤旗報道……12 月 30 日（水）

○五城議会石川公三議長への陳情の場で佐竹知事は「公立公的病院の統合再編は反対」と明確に表明した。（11 月 25 日、議長と知事の懇談の場）

○　秋田県医労連「いのちの請願」陳情　採択 22、継続 1、不採択 2」……12 月 24 日（木）

○厚労省構想推進通知国会質疑（共産党高橋千鶴子議員赤旗　12 月 24 日（木）

○2021.07.　　秋田県社保協・佐竹さんより

秋田では、県３月議会で５病院、１診療所で合計１８３床の病床削減（予算）が可決され実施されましたが、その後も休床病床を持つ公的病院を中心に「削減」を迫る動きが強まっていましたが、６月にはいり各地方での具体的動きが顕著となってきました。４２４公立・公的病院統廃合で名指しされいた大館市立扇田病院の無床診療所化が６月大館市議会（６月１６日）に提案されました。一方これに反対する地域の住民（18 自治会のうち 16 自治会が診療所化反対を表明)、本日７月７日（水）午後６時から「扇田病院を守る会」結成総会が開催されます。秋田の 424 共同行動実行委員会はこの住民の動きには直接かかわっていませんが、住民の切な願い「病院がなくなれば困る」がこのような動きをつくっていると思います。院長自身は反対だったと新聞で報道されています。昨日の是枝さんの報告で、私の頭の中もかなり整理できました。アンケート記入時間がなかったので秋田の状況の一部報告まで。参考までに新聞記事もお送りします。

①　R02.12 地域調整会議…能代・山本、秋田周辺、由利本荘・にかほ、湯沢・雄勝（書面協議）

・　地域医療構想調整会議委員から意見を聴取した結果、５つの医療機関（能代厚生医療センター、

秋田厚生医療センター、本荘第一病院、町立羽後病院、細部眼科（有床診療所））が実施する病床削減について、異議なしとの意見が多数。⇒R03.1 令和２年度第２回秋田県医療審議会（書面協議）で異議なし⇒国に対し、病床削減給付金に係る補助金交付申請を行った

② 住民アンケート(返信アンケート付チラシ)

・ 現在の国やコロナで病床逼迫の動きを知らせつつ、病床の削減や集約の危険を具体的に明らかに、病院を守る声を知らせるとともに、地域の医療・介護への「要望、こまる、不安」などの声をアンケートで集約をめざす。

③ 大館市は扇田病院の１０４床（一般２２床、療養４２床、地域包括ケア４０床）を３年かけ廃止し、２０２４年４月までに診療所化する。病院廃止の理由は、人口減少と病院老朽化などとしています。（７月２６日大館市の住民説明会）

・ ７月７日「守る会」を結成、「病院の存続と診療所化中止を求める署名」を開始、わずか一ヵ月で１６，４７９筆を集約、８月１２日福原淳嗣大館市長に提出しました。

7. 千葉県社保協

① 千葉市立病院の再編計画

・ 2025 年に向けて、千葉市立海浜病院を新病院へ移転建替え。市立青葉病院は小児科・産婦人科入院を新病院へ集約で 40 床程度削減。2025 年に向けて。

8. 東京社保協

① 都立病院の充実を求める連絡会が「都立・公社病院の独立行政法人化中止を求める」署名・宣伝活動を展開。都議会要請を繰り返し取り組んでいます。

② コロナ感染拡大の中、「人権としての医療・介護　東京実行委員会」は、「オリ・パラ中止して感染対策に全力を」の都知事要請に合わせ、都立・公社病院の独立行政法人化中止を要請しました。

9. 長野県社保協

○地域医療構想による病床削減に反対するとりくみ(2/27 県社保協総会議案より抜粋)

① 地域医療を守る長野県連絡会は、国による公立・公的病院の「再編・統合」要請に対し、検討を要請された県下 13 病院との懇談(1 月～7 月)、長野県知事への要請(3 月)、連絡会による共同記者会見(5 月)、厚労省医政局への再編統合の白紙撤回要請(7 月)、「公立・公的病院と地域医療を守る県民シンポジウム」の開催(11 月)、また医労連統一行動に合わせ自治体への陳情・請願に取り組んできました。連絡会が懇談した 13 病院からは、地域の現状を踏まえない厚労省の検討要請に対し病院から強い不満や国に対する不信が表明されています。

② 11 月の県民シンポジウムでは、飯山赤十字病院、川西赤十字病院、佐久穂町立千曲病院から 3 名の院長がシンポジストとして発言しました。病院長からは、高齢化と過疎化のなか地域医療を担う公立・公的病院の役割の重要性が語られ、「医療費削減を目的とした病院の統廃合は見直すべきだ」との訴えがありました。また、住民の代表からは、地域の病院は住民が安心して通えるかけがえのない存在であり、地元の議員とも連携して病院を守り抜きたいとの決意が語られました。

③ 厚労省の「再編・統合」要請は、地域医療を守る公立・公的病院のプライドを大きく傷つけるものであり、医療という「住民の命綱」を奪うものだとして県下自治体からも強い反発を呼んでいます。連絡会ではこの間の取り組みを受け、問題をより多くの県民に可視化するため、県民シンポジウム

の DVD 普及に取り組み、「コロナ禍の今こそ地域医療の拡充を」の声をさらに大きく広げていきます。

④ 県民シンポを受けて取り組まれた医労連による自治体請願では、地域医療構想と「再編・統合」への慎重な検討を求めるなどの「国民のいのちと健康を守るための請願(陳情)」が、県下の 8 割を超える市町村議会で採択され国に意見書が提出されました。これを受け、連絡会では長野県議会に対しても同様の請願に取り組んでいます。

１０．石川県社保協

① 石川県「７つの病院の統廃合は不要」だという回答を厚労省に提出(2020 年 3 月)

② 能美市などでは、地域住民アンケートの実施、「地域医療を考えるシンポ」開催などの住民の運動

１１．静岡県社保協

① 地域医療を守り、蒲原病院をよくするためのアンケート

② 地域医療を守り、湖西病院 をよくする ための アンケート⇒2021 年 5 月 3 日報告会

③ 社保協/地域医療会議：2021 年 4 月 13 日/自治労連、保険医協会、民医連、鈴木県議

12. 愛知県社保協

① 「名古屋市立大学」の附属病院拡大

・ 西部・東部医療センターに続き、緑市民病院、名古屋市厚生院附属病院までも市立大学附属病院化！

② 愛知医科大学―岡崎の医療法人北斗病院（270 床）を「分院」化

・ 県下 4 医科大学の覇権争い？！―病院・病床の大規模化、系列化

～医療連携法人+社会福祉連携法人 (22/4) 大規模・系列化によるスケールメリットと、法人傘下による役割分担と不採算医療・分野の一掃

③ その他の公立・公的医療機関も次々と病床整理削減、機能分担進める！

・ 「半田」と「常滑」の経営統合・独法化―地域で説明会開催予定

「名指し病院」を中心に、病床削減・機能分担

④ 今年度、「病床削減・再編計画」への直接補助金―８４億円―

・ 2021 年 2/9 に第一次「内示」出される！（60.6 億円―内、愛知県＝0.61 億円）

・ 具体的な予算配分例―知多厚生病院▲11 床「慢性期」2，505 万円補助

⑤ 「公立病院を守る名古屋市民の会」として

署名―２月末まで取り組んで―9，076 筆（追加分 5，700)、団体 283（追加分 125）

⑥ 愛知県「地域保健医療計画」中間見直し（案）への『パブリックコメント』提出

13. 岐阜県社保協

※岐阜県、公立公的病院の具体的対応方針に係る対応について(2021 年 1 月～2 月、県調整会議)

【公立公的病院再編統合の岐阜県再検討方針】・・東濃厚生病院のみ未定

公立・公的	高度	急性期	回復期	慢性期	増減
①岐北病院	0	１４４→１２０（－　２４）	８６→　８８（+２９）	５４→５４（０）	－　２２
②羽島市民	0	１７８→１３２（－　４６）	７６→１１２（+３６）	０　→　０	－　２７
③西美濃厚生	0	１８７→　　０（-１８７）	６３→１０５（+４２）	６５→３５（-３０）	－１７５
④揖斐厚生	-１５	１５９→　　０（-１５９）	５５→　　０（-５５）	５２→　０（-５２）	－２８１
新）西濃医療	0	０→２９３（+２９３）	０→１０７（+１０７）	０　→　０	＋４００
⑤国保白鳥	0	６０→　　０（－　６０）	０→　４６（+　４６）	０　→　０	－　１４
⑥飛騨市民	0	４６→　３４（－　１２）	１２→２０（+　　８）	３３→２７（－　６）	－　１０
⑦多治見市民	0	１９８→１９８（　　０）	５０→５０（　　０）	（休棟）２→２（０）	±　　０
⑧恵那市民	0	１４８→１４８（±　　０）	５１→５１（±　　０）	－	±　　０
⑨東濃厚生	５５	２１５→未定	－	－	未定
機能別増減	－１５	－１９５	＋２１３	－９０	－８７

14.　京都社保協

○　いのち署名・300 万署名

①　到達：医労連 3731、民医連 2600、社保協 1964、ハガキ 1200　総計：14995

②　位置づけ：医師･看護師･介護職員増員として、病院再編反対署名として、コロナ対策求める署名として、「ストップ医療崩壊･コロナ対策署名」と改めて位置づけ、すべての団体･地域での取り組みをめざす

③　今後の取り組み

・署名付きはがき京都新聞に折り込み：実施

・440 病院問題として位置づけもふくめて、3 月 27 日に大江町全戸配布実施（500／1800 戸）

・討議資料の要望あり＝鋭意調整中

○　公立公的病院統廃合問題

・丹波町病院　町の財政問題についての検討など

　11 月 28 日の学習会のまとめを呼びかけ人に配布、呼びかけ人会議の設定を検討

○　京都府北部　医療と介護の実態調査

- 医療機関・施設・医師会・・・訪問の際にお伺いしたい事項
- 住民アンケート

15　滋賀県社保協　(3/5 県社保協総会議案より抜粋)

- 滋賀県では。２０２０年１月２６日に「志賀日赤を守る会」が結成され、地域で宣伝署名行動が行われ、結果２０２０年３月に、 12.151 筆の署名が三日月知事に 、６月に 11.457 筆 が 大津市長に提 出 されました。
- 湖北地域の病院統廃合の動きに対して、**「湖北の地域医療を考える会」が結成**され、学習会が３回行われ、**住民アンケートをとる運動へ**と発展しています。２０２０年１２／１２（土） 行われた第３回目の学習会には、「湖北総合病院を守る会」のメンバーも参加されました。今後の連携した取 り組みが期待されます。 大津 市民病院 を巡っては、大津市からの 運営負担金 が増加し、経営的には一息ついています。２０２０年８月、 大津市民病院 は“中期目標 を発表しましたが、 地域の中核病院として、大津市民に対する地域医療を守ることを明確に打ち出され ておらず、自治体問題研究所を通じて、懇談をしてゆくことになっています。

・　公立・公的病院の再編が各地域で行われていることを踏まえ、地域医療への影響について、住民の声、地域の状況等の情報集約に引き続き取り組み、地域医療も守る運動に取り組みます。
・　米原市のある地区で、高齢を理由に診療所を閉鎖へ。無医地区になってしまうので、住民が存続の取り組みを始めている。

※公立・公的病院統配合問題(大津市社保協)

大津市民病院の課題：自治体問題研究所と大津市民病院の懇談を申し入れているが 、 2021 年４月中には実現してほしいと伝えている

16.　兵庫県社保協

〇地域医療構想について

・　県への働きかけ検討

地域医療構想廃止を要求その後、「全世代型社会保障改革最終報告」では「基本的な枠組みは維持し財政支援をする」とした。「兵庫県地域医療構想」2018 第 7 次保健医療計画、2020 中間見直し発表。

・　県内病院統廃合情報

✓　三田市民病院と済生会兵庫県病院の統合再編問題緊急報告集会（社保協からも参加呼びかける）日時　4 月 11 日（日）

✓　神戸市会福祉環境常任委員会陳情 3/22(月)済生会兵庫県病院の存続・充実を求める会・三田市民病院を守る会

済生会病院・宝塚市民の統合再編」陳情・陳述(浜本代表、東浦代表。不採択)

北区衛生監視事務所の中央区への統合　陳情のみ(北社保協。不採択)

✓　神戸市「市民課・保険年金医療課・おくやみコーナー民間委託－兵庫・北神区役所 4 月先行実施→2024 年度までに全区実施へ)→委託会社は人材派遣会社・パソナ(会長・竹中平蔵・菅自公政権のブレーン。51 億 4 千万円の淡路市の県有地をパソナに 5 億円で売却。「国民に 7 万円支給して、年金と生活保護を廃止、死ぬまで働かそう」とするベーシックインカム論）提唱者。

✓　兵庫の地域医療を守る会地域連絡会議 4/12(月)15：00～。保険医協会

〇　兵庫県は 1 億 4400 万円の病床機能再編支援補助金で病床削減を誘導

〇　国家公務員共済組合連合会（KKR）は、六甲病院に行ける経営主体の変更に関するお知らせを院内に掲示し 2021 年 7 月 1 日付で医療法人若葉会への経営譲渡。

17.　鳥取県

①　鳥取　日野郡(南部町・日南町・江府町)　　公的病院再編で日南病院が名指し

・　公立病院のある町づくりを考えるシンポジウム　南部町の未来を考えるシンポジウム実行委員会　　2019 年段階

・　日南町広報で警鐘発信＝「国の病床数削減策に促されているというのではなく、持続可能な医療の在り方について、町で主体的に考えていく」

②　鳥取大学医学部付属病院と日野郡 3 町が、医療連携に係る基本協定を締結しました。(2020 年 4 月 24 日)　日南病院が 424 対象病院

・　まずは、統廃合ありきでなく、同じ土俵に乗って議論する事、大学と連携して医学生教

育込みですすめることなどが合意できました。(鳥取大学医学部 HP より)

「統廃合ありきでなく、同じ土俵に乗って議論する事、大学と連携して医学生教育込みですすめることなどが合意」

18. 香川県社保協

① 高松市民病院、塩江分院：無床診療所化の計画

⇒「入院ベッドのある塩江分院の早期建設を求める会」が運動

② 香川県の再検証結果

・ 地域医療構想策定時に想定した稼働率で割戻した入院患者実績調査による病床数では、慢性期が大きく必要病床数を上回るものの、その他の医療機能については、概ね必要病床数に近い状況にある。

医療機能	H26年 病床機能報告 (H26.7.1時点)		H30年 病床機能報告 (H30.7.1時点)		H30年病床機能報告に基づく R7年予定病床数		R7年 (2025年) 必要病床数	R1入院患者 実績調査 (R1.7.1～R1.7.7 平均)	
	病床数	必要病床数との差	病床数	必要病床数との差	病床数	必要病床数との差		病床数	必要病床数との差
高度急性期	1,196	150	775	▲ 271	1,188	142	1,046	1,082	36
急性期	6,367	2,981	6,034	2,648	5,492	2,106	3,386	3,020	▲ 366
回復期	1,096	▲ 2,300	1,638	▲ 1,758	1,940	▲ 1,456	3,396	2,543	▲ 853
慢性期	3,611	1,327	3,155	871	2,810	526	2,284	3,379	1,095
休棟・休床中	317	317	699	699	530	530	0	894	894
合　計	12,587	2,475	12,301	2,189	11,960	1,848	10,112	10,918	806

再検証対象医療機関に係る再検証について(2020 年 1 月)

19. 高知県社保協

・ 四万十市立市民病院

2021 年 4 月から減税 99 床ある病床のうち 44 床を休床し、55 床とする。

現在、稼働率が 5 割を下回る状態。経営危機的状況へ。退職看護師らの補充(10 人)を見送る。人件費圧縮約 1 億円。07 年度にも、常勤医の減少から 130 床の一部を休床。16 年度に 31 床を廃止し、99 床になっていた。

２０. 広島県社保協

① 「４２４共同広島」

✓ 学習組織と「いのち守る署名」の積み上げを最優先に

4/15 地域医療学習会（24 団体 43 名）

寄せられた声と発行したニュースでパンフレット作成

✓ 地域行動と地元での運動組織

大竹市(下記)

✓ 市町対策の積み上げによる意見書採択

現在 4 市 2 町(採択率 25%) → 引き続き全市町めざしましょう

2/18 大竹市議会で請願提出（紹介 1 会派 4 議員）→継続審議

✓ 対象病院との懇談

ヒロシマ地域総行動(医労連)：

→広島市内全 84 病院中 6 病院 2 施設と懇談、他に 4 病院 1 施設 1 団体より賛同回答

県内全 236 病院への郵送要請(424 共同広島・県保険医協会)

→9 病院から賛同回答(うち署名協力申し出 6 病院)

② 令和 2 年度第 2 回広島圏域地域医療構想調整会議　2021.3.11

・ 協議事項 1　病床削減支援給付金の活用について

✓ 藤井病院，斎整形外科，中川外科胃腸科の病床機能再編（病床削減）事業計画における給付金活用について　「承認する」多数により承認

【意見等】

・新型コロナで病床が足りない状況となった。コロナ禍前に事業化されたこの病床削減支援事業は見直すべきではないか。(今後起こりうるパンデミックを考えると，病床を確保すべきではないか。)　・病床削減は広島の医療崩壊を招くことになるのではないか。

③ 再検証要請対象病院の状況/県社保協調べ

「再検証」要請 対象病院の状況　　2021/9/3 16:06 時点　　作成:広島県社保協

		2020(R2).7.1時点暫定値と把握できた病床再編動向(b) ※ 青字は別資料						2025年にかけての病床変動見込み(c)=(b)-(a)				
二次医療圏	病院名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
広島	安芸市民病院		40	40	20		100	0	0	20	▲ 60	▲ 40
	吉島病院		81	30	47		158	0	▲ 30	30	0	0
		2,316	5,073	2,386	3,226	333	13,334	▲ 182	122	▲ 16	▲ 251	▲ 372
広島西	広島西医療ｾﾝﾀｰ		200		240		440	0	0	0	0	0
		270	535	209	997	0	2,011	0	31	▲ 38	▲ 83	▲ 108
呉	呉医師会病院	0	98	52	50		200	0	▲ 4	0	▲ 3	▲ 7
	済生会呉病院	0	50	100	0		150	0	▲ 100	100	0	0
		311	1,516	547	807	135	3,316	51	▲ 41	126	▲ 232	▲ 96
広島中央	県立障害者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ	0	60	155	60		275	0	0	0	0	0
	呉共済病院忠海分院		14	30			44	0	▲ 30	30	0	0
		14	950	563	861	20	2,408	0	▲ 11	18	▲ 34	▲ 16
尾三	因島総合病院		42	41	32		115	0	▲ 78	41	▲ 8	▲ 45
	三原市医師会病院		102	48	50		200	0	0	0	0	0
	三原赤十字病院		106	91			197	0	▲ 29	▲ 1	0	▲ 30
		353	1,466	662	798	152	3,431	0	▲ 63	▲ 11	▲ 191	▲ 189
福山・府中	府中市民病院		50	50	50		150	0	0	0	0	0
		646	2,259	1,241	1,125	194	5,465	▲ 212	200	160	7	220
備北	庄原赤十字病院	4	198	55	41		298	0	0	0	0	0
		34	610	196	706	0	1,546	0	6	19	▲ 17	▲ 11
県 計		3,944	12,409	5,804	8,520	834	31,511	▲ 343	244	258	▲ 801	▲ 572
								広島県地域医療構想との過不足				
								955	3,291	▲ 3,943	1,760	2,897

出典:表中数値は青数字を除き、広島県「令和2年度病床機能報告の状況(速報値)」,「令和元年度病床機能報告集計結果」及び「広島県地域医療構想」による

④ 三原の 2 病院 2022 年春統合

・ 三原赤十字病院(三原市東町)と三菱三原病院(同市糸崎)が 2022 年春統合する計画の発表から一夜明けた 6 月 26 日、地元では三菱三原の閉院方針を惜しむ声が聞かれた。行政や医療機関には、人口減を見据えた判断に対する理解が広がった。(2021 年 6 月 27 日中国新聞)

・ 三原市域における医療再編について(2021 年 6 月 25 日　地域調整会議合意内容抜粋)

✓ 尾三医療圏（三原市）の現状について

三原市域においては，全国又は県内と比較しても早いスピードで人口減少や高齢化が進んでいる。また，人口 10 万人あたりの病院数・病床数は多い一方で，1 病院あたりの医師数が少なく，資源が分散している状況にあり（別紙「参考 1　尾三医療圏（三原市）の現状」のとおり），二次救急の体制維持に不安がある。そのため，今後の医療需要を踏まえて，高齢者に特有な疾病の対応や地域医療を安定的に確保するために医療体制を見直す必要が

ある。

✓ 再編内容とスケジュール

(1) 再編の内容

＜現状＞

	三原赤十字病院	三菱三原病院
病床数	197 床 （急性期 106・回復期 91）	81 床 （急性期 81） （令和４年３月 31 日廃院）
課題	医師不足	建物老朽化

医療資源の集約化

＜統合後＞

三原赤十字病院
232 床（▲46 床） （急性期 141・回復期 91） （令和４年４月１日統合）
＜統合後の機能強化＞ 消化器系と整形外科系の充実 救急対応能力の強化　など

(3) スケジュール

令和３年６月 25 日	尾三圏域地域医療構想調整会議
７月６日	住民説明会（三菱三原病院近隣の町内会対象）
７月 28 日	県単位の地域医療構想調整会議・広島県医療審議会
７月 29 日以降	厚生労働省の同意（公的医療機関を含めた再編により，病床過剰地域であっても一方の医療機関での増床を認める特例承認）
令和４年４月１日	統合

✓ 「重点支援区域」申請へ　広島県、再編議論促す　（中国新聞 20210630）

指定されれば国の給付金が１・５倍に増え、財政支援が厚くなる。今回の病院再編は、２０１６年にまとめた県の地域医療構想に基づく初の事例。県は「統合は医療提供体制を堅持する選択肢」として、県全域での議論を促す。

21. 岡山県社保協

・ 笠岡市民病院

✓ 規模縮小を柱とした基本構想の原案を発表(2020 年 5 月 20 日)。

病床数や人件費を削減して経営改善を図り、地域医療を支える拠点として存続させる。新病院の開院は２０２５年度の見込み。

届け出病床数を現状の９９から６０～７０床にする。支出の６割を占める医師や看護師らの年間の人件費は退職者を補充しないことで現状の約１２億１千万円から約７億６千万円に圧縮。給与額などを独自に調整できる地方独立行政法人に運営を変更することも検討する。(2020 年 5 月の報道より)

22. 愛媛県社保協

・ 宇和島市立吉田病院は

✓ 144 床（一般病床 96 床、療養病床 48 床）だが、常勤医が 2 名で、一般 36 床＋地域包括ケア 16 床と療養病床 48 床の 100 床しか稼働できず、医師確保の展望がなく、建替えにあたって病院存続のために、一般 30 床＋地域包括ケア 20 床と療養病床 30 床の計 80 床に縮小する計画にして給付金を取った

✓ 宇和島市は、愛媛ではめずらしく市立の病院がもう１つ（宇和島市立宇和島病院）あり、市立吉田病院存続の住民運動があった。

・ 津島病院は公表後に行われた住民向けの医療懇談会で、患者から病院の存続を心配する声が上がった

23.　長崎県社保協

・　平戸市・生月島内の約 780 世帯が加入する「生月病院を存続させる会」

24.　福岡県社保協

・　令和 3 年第 2 回中間市議会臨時議会が令和 3 年 2 月 5 日に開催され、「中間市病院事業の設置等に関する条例及び中間市立病院使用料及び手数料条例を廃止する等の条例」が可決。令和 3 年 3 月 31 日（水曜日）に閉院。

・　中間市立病院。12 月議会を出せず、2 月議会で決定し、3 月末廃院。経営問題。122 床許可病床⇒80 床の稼働。「これからの中間市を考える市民の会」(自治労が頑張っている)、「文化・福祉を守る市民の会」(民主勢力)が協力して反対集会。

※住民要求を把握し反映するためのアンケート活動

①　静岡県

◆地域医療を守り、蒲原病院をよくするためのアンケート

◆地域医療を守り、湖西病院 をよくする ための アンケート

②　山口県・・・山口県地域医療構想市民アンケート結果

③　岐阜県

◆(岐阜)自治体アンケート

◆(岐阜)多治見市民病院アンケート（案）

④　岩手県　地域医療の充実を求める市民の声・3000 人プロジェクト

◆安心して住み続けられる地域のために～市民アンケート

⑤　滋賀県

◆「湖北の地域医療を考える会」の住民アンケート

⑥　石川県

◆能美市での住民アンケート